

第1回 田野畑村新庁舎建設検討委員会（会議概要）

1 開催日時 令和5年10月30日（月） 午後1時30分～午後3時30分

2 開催場所 田野畑村役場第1会議室

3 出席者 委員14名（欠席者1名）

村長、副村長、総務課長、総務課主任

4 委員長、副委員長の選出

委員の互選により、委員長に岩手県立大学盛岡短期大学部准教授内田信平氏、副委員長に田野畑村森林組合熊谷吉秀氏を選出

5 議事要旨

（1）これまでの検討経過について

【委員】本年度、役場の若い職員で検討する際に、令和元年に検討した基本構想（素案）は資料として提供されたか。

【事務局】基本構想（素案）をベースとして検討した。

【委員長】若手職員による検討の結果は、次回の委員会で紹介できるか。

【事務局】その予定で進める。

【委員】新庁舎の候補予定地は、アズビィ周辺が有力ということか。それとも小学校の敷地や中央防災センター周辺の可能性もあるか。

【事務局】あくまでも前回の議論は、参考という位置付けとなる。敷地を議論する際には、整備費を安くするという観点から、村有地から候補を絞るという考えもある。一方で、こういったコンセプトの庁舎を建てるうえでは、買ってでもこの場所が望ましいという意見もあるかと思うが、今までのことを決まったこととしてではなく、新しいアイデアの議論をいただきたい。

【委員長】前回の敷地選定については参考と考えて、皆さんの意見を聞きながら選定する方向で進めていきたい。

【委員】概算事業費の試算、13億5,000万円は今回出した金額か。

【事務局】令和元年12月の基本構想（素案）の作成時に試算したものとなる。

【委員】資材高騰などで、この金額では収まらないと考えてよいか。村の予算を踏まえながら、用地買収をしないで村の土地を活用することや、建物の大きさ・スペースを減らすことなども考えていかななくてはいけないと思う。

【事務局】仮に、基本構想（素案）検討時の面積、規模のまま建てるとなると、当時と比べて資材高騰などがあるので、13億5,000万円では収まらないと考えている。

【委員】予算はざっくりでどのぐらいか。

【事務局】はっきりとしたことは言えないが、当時の試算金額が目安になってくるのではないかと考えている。

【委員】 住田町では、庁舎の中に避難所が確保されていて、有事の際には良いと思った。可能であれば、新庁舎に何らかの避難施設があればいいと思う。

【事務局】 住田町の庁舎は木造で、大きいホールを多目的に利用する形だったと思う。新たに庁舎に避難所を設けるか、隣接する施設を避難所として活用するということもあると思う。13億5,000万円は、フルスペックというか国の基準に基づいて割り出したものだと思う。資材高騰などがあり、実際には、かなり縮小しないと、この予算では収まらないと予想される。まずは、村にある資源をどう有効に活用して、役場と連携した活用ができるかが一つの視点になってくると思う。

【委員長】 現時点で大きな災害があった場合、避難場所はどこに指定しているか。

【事務局】 アズビィ周辺の施設になる。正式にはアズビィ体育館だが、震災時はアズビィホールとアズビィ楽習センターを活用した。アズビィホールは基準を満たしていないため、避難所として正式に指定できないが、72時間持つ非常用発電設備がある。

【委員】 前回の検討時は、災害の後で庁舎建設にも補助が出る特例があった。他市町村も建設には、ありとあらゆる補助金を探している。遠野市では暖房をペレットにして補助金をもらうなど、庁舎建設の費用捻出に取り組んでいた。村でも補助金などを探していく予定はあるか。

【事務局】 補助金などを活用しながら、庁舎建設を進めていきたい。

【委員長】 次回、庁舎建設に使うことができそうな補助金を紹介できるか。

【事務局】 準備する。

【委員長】 使えるものは使っていければいいと思う。住田町や紫波町など木造の庁舎が近年注目されている。

【委員】 道の駅は木をふんだんに使っている、小中学校も内装には木を使っている。庁舎もせめて内装には村産材、県産材を使ってほしい。補助もある。

【委員長】 躯体は鉄骨やRCだとしても、内装に地元産材を使うことは、村の経済に対して若干かもしれないが、波及効果が期待できるのではないか。

【委員】 すごくいいコンセプトだと思ったので、生かしてもらえるといい。意見が取り入れられた整備コンセプトになっていた。最初に目に入るのはコンセプトで、そこから検討していくことになると思う。

【委員長】 整備コンセプトについて、意見や感想はあるか。

【委員】 カフェ、子育て支援の場、避難者支援、自然エネルギーの活用があるが、役場にそもそもカフェは必要なのか。カフェは役場の機能の本流ではなくて、サブ的なところだと思う。カフェが入ることで民間事業者を圧迫するのではないかも考える。例えば、このスペースを作ると大体いくら掛かるとかが分からなければ、良い悪いの判断ができない。必要、不要という意見も言えない。あればいいという話はすると思うが、本当にお金をかけてやるべきなのか、逆に自然エネルギーを入れないと補助金がもらえないという場合には、必要だという話になると思う。

【委員】例えば、アズビィ楽習センター付近に建設したとすると、図書室は子どものたちの支援の場にもなっている。そういったスペースを活用することで、節約や延床面積を狭めることができる。多分、一番有効活用するにはアズビィの近くということで、当時、建設候補地となっていると思う。施設を無駄にしない使い方をしたほうがいい。

【委員長】基本的なコンセプト「持続可能な田野畑村の拠点として、人と物・情熱が行き交い、住民が集い集まる庁舎」。この大きな目標に対して、おかしいとか反対だと言う人は多分いないと思う。さらに、「みんなに愛され、交流や協働を支える庁舎」、「人と環境にやさしく、住民が集い集まる庁舎」、「時代の変化に対応しながら快適で安全に使い続けられる庁舎」この基本方針3つについて、これは変だということはきっとないと思う。一方で、どのような機能が必要かというときに、これは総花的というか、山盛りに全部乗せたところがあるような気もする。本年度の委員会では基本方針3つは大事に継承して、導入機能については、整理も含めて皆さんの意見を入れながら調整していくという形で進めていければいいと思う。

【委員】賛成。

【委員長】基本方針は大事に継承して、機能については、意見を取り入れながら必要に応じて整理するという形で進めていきたい。

【委員】建設後に、建物までの道路が狭い、バスが入れないといった道路が結構ある。村道は決して広くないので、もしアズビィにした場合、イメージ図だと国道からアズビィまでの道路は拡張するような形だが、海の方角には観光地があるので、こちら側にも広げないといけなと思う。道路の拡張まで考えているか。

【事務局】当時の計画では、国道から建設候補地までの拡張となる。その先の道路の拡張については、検討していない。

【委員】拡張となると個人の家がある。用地取得になれば恐らくとんでもない移転費が掛かると思われる。そこが一番のネックになってくると思う。周辺にいろいろな施設があってもいいが、そこを進めないといけな。避難も走って逃げるより、車に乗っての避難ということがあり、そこも一つの避難路になると思うので、検討してほしい。

【委員長】概算事業費に取り付け道路の拡張や土地の取得、造成費は含まれているか。

【事務局】用地取得費は、国道からの新たな取り付け道路と建物の敷地用地を含んだ試算想定になっている。国道から直接役場の正面に向かう道路になる。

【委員】新しい庁舎もバリアフリーの設備を増やしたほうがいい。

【委員長】障がいがある方、高齢の方、子ども連れ、誰でも細かく対応できる意匠は大事にしていくところだと思う。恐らく現庁舎で困っている方もたくさんいると思うので、その辺は当然解決していくべき視点だと思う。

【委員】事業費は、村としてどのぐらい出す予定なのか。

【事務局】現時点では確たる金額は持ち合わせていない。現在、中長期の財政見通しを練り上げている。財政見通しには、新庁舎の建設事業は見込んでいないが、他の事業と優

先順位を付けていくことになると思う。現状では、このくらいの金額であれば、何も考えずには言わないが、見込んでいる部分があるが、大きく上回ってくると、村が予定している事業をどういった優先順位で進めていくのかということになる。例えば、取り付け道路の整備は、数年後ということもあり得る。

【委員】 予定地は、私としてはアズビィのほうがいいような感じがするが、土地の購入などがあると思う。予算の上限がある程度分かればいい。

【事務局】 ゆくゆくは、その辺も示していければいいと思う。そうしなければ議論が固まらないということもあるかと思う。コスト、現実性というものを踏まえた議論になるように留意していきたい。

(2) 田野畑村新庁舎建設基本構想の策定方針（案）について

【委員】 場所や役割をこれから決めると思うが、順調に進んで3月中旬に委員長から村長に検討結果の報告があった場合、概要版のスケジュールで事業が進むと考えてよいか。

【事務局】 次の工程に進むためには予算が必要になるため、議会と情報共有を図りながら適切なタイミングで予算化していくところだと思う。年度末に基本構想が定まって基本設計に進むまでに、予算要求をどのタイミングで行うかということがあるので、きっちりスケジュールどおりにはいかないと思うが、全体としては9年度ぐらいに新しい建物を使い始めるというところは何とか実現させたいと考えている。

【委員】 基本構想（素案）の作成時は、予算などをあまり気にしないで、案を出すところから始まったと記憶している。この基本構想（素案）は、委員の皆さんの夢が盛り込まれているもので、それと予算を直結するということが少なかったと思う。本当に9年度を目指して建てるということであれば、細かく詰めなくてはいけないところが出てくる。現在、庁舎に関する基金はいくらあるか。

【事務局】 庁舎及び公共施設整備基金は、令和4年度末時点で12億ほどと記憶している。この金額にはホテル羅賀荘の改修分なども含まれている。

【委員】 みんなで知恵を絞って、安い予算でいいものを作れるように頑張っていければいい。

【委員】 庁舎は、国道から何キロ以内で道路の幅は片側一車線で何メートル以上などという決まりはあるか。

【事務局】 多分ないとは思いますが、調べて次回、回答する。

【委員】 アズビィのネックは入りにくい道路だと思うが、今の役場の交通量はそんなに多いのかと思う。配置計画の検討が2カ所あるが、若手職員たちが検討したものか、それとも前回の検討委員会の方たちの案が載っているのか。

【事務局】 この配置図は、令和元年の検討のものになる。若手職員では機能的な部分しか検討していない。

【委員】 候補地②は民有地か。

【事務局】候補地②は民有地、候補地①は村有地となっている。

【委員】候補地②は、用地取得可能な雰囲気か。

【事務局】ゼロに戻ったので何とも言えない。予算、単価の話しになっていくと思う。

【委員長】資料は、令和元年度に検討したもので、若手職員の検討とは直接関係ないという理解でよいか。

【事務局】よい。

【委員】3月に向けて意見が進みすぎている部分があると思う。検討項目を具体的に示せばいいと思う。

【委員長】大きな流れとしては、今日は、これまでの振り返りが主になる。次回は機能・サービスについて、3、4回目で他の行政拠点配置と連携、建設候補地を詰めていく予定でよいか。

【事務局】よい。

【委員長】事務局から説明のあった策定方針と委員からの意見を参考に策定作業を進めることとする。

(3) 庁舎に求められる機能・サービスについて

【委員】2階は窓口に面していないため、取り次ぐ窓口職員に負担がかかっている。情報をやりとりする際に齟齬が生じやすいといった弊害もある。来庁者にも職員にも分かりやすい構造・機能が必要。

【委員】窓口にチラシなどを置いているが、村の産業や村が取り組んでいる事業などの情報が来庁者に分かりやすく伝わっていないと感じる。情報をもっと分かりやすく伝えられるスペースが必要。

【委員】バリアフリーはとても大事だと思うが、バリアフリーの建物が少し使いにくいという部分もあるので、その辺のバランスがしっかりした建物がいい。パッと見て、誰にでも分かりやすいレイアウトになればいい。

【委員】中心部にできた場合、広い駐車場があると車を停めておきやすいと思う。子育て世代としては、宮古市役所みたいなフリースペースがあるといい。バスや部活を待つときに、宿題をしながら過ごせるスペースを希望する。

【委員長】駐車スペースは、すごく大事な話だと思う。アズビィ施設周辺でも中央防災センター周辺でも恐らくほとんどの村民が車で行くことになると思う。子どもが待機できる安全な場所というのも大事な視点かもしれない。

【委員】車椅子などでトイレに行って、バリアフリーなのに使いにくいときがある。例えば、ストーマの人が使えるシャワーとか、一つでいいので充実したトイレは必ずあってほしい。子どもが小さかったときに、騒いだらどうしようと思って人に預けたことがあった。書類を書くときに、小さい子どもがいても安心できるスペースがあればいい。

【委員】他市町村では、一定スペースを作って議会時には議場として使って、それ以外は

フリースペースや避難場所として利用するという案があった。広い駐車スペースは絶対に必要。車がないと役場に行けない人たちがほとんどで、徒歩や公的機関も非常に難しい。職員や不特定多数、避難者が使う場所はある程度必要だと思う。

【委員】 役場の機能は、職員が使いやすいように作ってもらうのが大前提だと思う。誰でも集まれるフリースペースはあってもいいと思う。駐車場は場所にもよるが、フリー駐車スペースがあると、宮古に乗り合わせて行くときなどに使えて、ガソリンを無駄に使わずにエコになっていい気がする。

【委員】 役場職員が使い勝手が良ければそれで OK。ただ、窓口は必要以上に広かったり、天井が高かったりする市町村がある。雰囲気がすごくいいところと威圧感を感じるところがあるので、窓口だけ検討してくれれば一村民としては OK。ATM は外にあったほうがいい。子育てスペースは、アズビィ楽習センターを利用してほしい。

【委員】 使いやすい、分かりやすい、それと入りやすいというのも一つの必要性ではないかと感じている。

【委員】 職員が使いやすいように作ってほしい。窓口で待っているときに、椅子が少ないので多くしてほしい。職員が夏でも涼しい顔をして仕事ができるようになればいい。

【委員】 役場職員が使いやすくしてもらうことと、シンプルな作りで、分かりやすい雰囲気がいい。

【委員】 今は、保健センターとかいろいろな施設がバラバラになっている。それを一つにできればいいという希望はある。スペースを少し広く取るなど、職員が気分良く、のびのびと仕事をできるようにしてほしい。入りやすくて、使いやすい、なるべく小規模でお金が掛からない建物でいい。今は暖房費の問題もある。

【委員長】 一定以下の規模で作るということは、建設費と同時に維持管理費も抑えられる、むしろ抑えていかななくてはならない。これからどんどん財政状況が良くなることはたぶんあまりないと思う。

【委員】 保健センターと役場が一緒であればいい。それと、2階の課に用があるときに、分かりにくいと感じる。

【委員長】 今日の意見を区分けして整理したうえで、次回は、幾つかのテーマを設定できれば議論しやすくなると思う。次回は、若手職員のプロジェクトチームでの検討内容を発表する時間を設けたい。動線や職員の使いやすさは、職員意見が大事になってくると思う。

(4) その他

特になし。